

000	FAX 022(373)6015	栗原	栗原市築館薬師	0228(22)3163	FAX 0228(22)1679
180	FAX 022(361)5181	小牛田	美里町牛飼清水江	0229(33)2204	FAX 0229(33)3301
331	FAX 022(367)1507	加美	加美町北町	0229(63)2115	FAX 0229(63)3597
335	FAX 0220(21)0036	岩沼	岩沼市桑原2丁目	0223(22)2215	FAX 0223(22)2792
172	FAX 0220(22)3440	大河原	大河原町幸町	0224(52)1173	FAX 0224(52)1182
371	FAX 0228(32)2848	白石	白石市鷹巣東4丁目	0224(25)2201	FAX 0224(25)2516
		角田	角田市角田中島上	0224(62)1568	FAX 0224(62)0707

**読者相談室**  
月一金曜9:30~17:30  
022(211)1447

**配達問い合わせ**  
022(211)1302

# 遅れる仮設住宅の寒さ対策

# 民間支援行政を補完

# 断熱性アップに重点



焦点

3・11大震災

仮設住宅の寒さ対策をめぐり、民間支援団体の活動が本格化している。気仙沼市本吉地区では、住宅に断熱材などを施すリフォーム支援のボランティアが引つ張りだ。石巻市牡鹿地区では、暖房器具を配布する活動が好評だ。各団体は行政がようやく打ち出し始めた取り組みをにらみ、公的支援を補完する方策を探りだした。

1面に関連記事

9月にリフォーム支援を始めたのは、北海道函館市のNPO法人アパカス。内壁や鉄骨柱に断熱材を張り、窓ガラスにはプラスチックの内障子を入れて2重サッシに変える。屋根に断熱塗料を施工試験も始めた。

対象は本吉地区の仮設

仮設住宅の屋根に断熱塗料を施すアパカスの前田さん(左端)ら。気仙沼市本吉町

が室内にじかに伝わる構造が多い。短期間で大量の建設を迫られ、寒冷地対策が取れなかったのだらう」と指摘する。

県は10月になって、仮設住宅の外壁への断熱材の追加や窓の二重サッシ化などの工事を行う方針を表明した。アパカスは、県とも連携しながら支援を継続する。

寒さ対策には暖房器具も不可欠。国際NGOの難民を助ける会(東京)は9月、牡鹿半島の仮設住宅130世帯に石油ストーブなどを配った。

暖房器具をめぐっては、国が今月、災害救助法による国庫負担対象となる見解を示し、今後は公費で設置が進む可能性が高い。同会東北事務所は「仮設住宅として県が借り上げた民間賃貸住宅向けや、障害者や高齢者の福祉施設向けの器具提供に力を入れる」と話

3DKに家族6人で暮らす主婦及川勝子さん(66)は「朝晩は寒くて、寝るときは段ボールを壁に立ててしのいでいる。対策のおかげで楽になる」と感謝する。

アパカスのスタッフで京都大学大学院で建築学を研究する前田昌弘さん(31)は「外部の暑さ寒さ

石巻市を中心に復興支援活動を行う「め組ジャパン」は、インターネットを通じて全国に暖房器具提供を呼び掛けている。仮設住宅に加え、自宅で避難生活を送る被災者向けに配布することも検討している。

**放射能食品にどう影響**  
みやぎ生協 19日、放射能食品への影響学習会を、仙台市で実施した。元安全委員会メンバーの約10人が参加した。元安全委員会メンバーの約10人が参加した。元安全委員会メンバーの約10人が参加した。

県内の主な放射線量(19日)  
\*女川原発  
0.12  
北で果全力ロ1